

# 風's・風のたよりオンライン版

風'sでは、毎月「風のたより」をお配りしています。ここでは、それを掲載しています。

1999/3/11 No.18

1999.3.11 NO.18

沈丁花（じんちょうげ）の花がベランダで咲いた。挿し木に成功！ ちょっと厚い花びらの外が赤紫で内側が白い、香り放つ春の花。

花とも「出会い」があり、その時の思い出がよみがえります。ロマンチックでないけれど、沈丁花は、交差点の辻に咲いていて、蕾と花開いた様子の違いが印象的で、母のけやきの鏡台に小さな花瓶に一輪、姉が活けたことを思い出す。私が自分のことで精一杯だった頃のこと・・・。

♪♪♪弥生三月♪♪♪

三月に暦が変わって喜ぶのは、やっと寒い冬が過ぎ、やれやれ「いのち」があったと感じる花や虫とともに、歴史を長く歩いてきた人々かと思う。今年89になる明治生まれの実父が、暦が三月になったことをとても喜んでいます。

.....老人の居る風景.....

我が家も「老人の居る風景」になって、もうじき一年になる。老人力の素晴らしさには脱帽する。約束ができず、予定がたたない。だからこちらも「なんとかなるさ〜。」でやっている。子どもらも、彼のなんともしローな動きや、私とのやりとりから老人力を学ぶこのごろです。

.....老人力の勉学.....

老人力の勉学の機会は、思わぬ事からある日突然やってきた。ショックなできごとだったが、たまたまその前日、G A I Aの会の「食生活のセルフラーニング」の講座に出ていて、「つらいことがあってもそれは何かのメッセージである」というようなことを聞いていて、心の準備が出来ていたようでした。実家の全焼から起きた様々な出来事を風'sを始める前の私とは違う受け取り方、関わり方ができた。私にとって風'sとG A I Aの会は「見えない学校」出会いのすべてが学びあいになります。

§§§見えない学校§§§

平井雷太さん（注1）の言う「見えない学校」という言葉を借りて言うならば、私は「見えない学校」のなかで過ごす日々です。そして、その日々の出会いは、見えないところでもさらにつながりを持ち、そのうねりを感じることが、この先の「未来」がなんとかなりそうじゃないか、という希望につながっていく思いがします。

（注1）「教えない教育」を実践する「セルフラーニング」所長。映画／伊勢監督「見えない学校」の中で紹介されている。

春です。我が家の家庭菜園の野菜も立ちあがってきました。冬の間 這うようにして堪えていた菜っ葉達、のびてのびて、やがて菜の花畑に...。そして雑穀栽培に挑戦。

## 目次

2頁 2月13日リアルバレンタインコンサート

3頁 国際理解教育～私から始まる国際理解

4.5頁 3月2日「ブルース&トーク」

6頁 フェアトレードを広げよう！ 公開講座

7頁 ライフシードキャンペーン1999 大谷ゆみこ未来食公開講座 I N名古屋

8.9頁 5月29・30日 フォルクローレフェスティバル

10・11頁 G A I Aの会のお知らせ

12頁 気になる風の情報、

----- 2頁----- 2月13日（土） 於ウィルあいち

第2回 リアル・バレンタインデー 43名参加（子ども12名含む）

### ■子ども参加・参加型国際理解教育ワーク ショップ開催

2回目の今年は、「チョコレートの来た道」と題したワー クショップと、フォルクローレのグループ「クラカ」の演奏 をライブで楽しみました。チョコレートは子どもにとっても 大好きなお菓子。そこで、フェア・トレードのことを伝える のに絶好のチャンス！ということと、アンデスの民族音楽を "なま"で聞いてもらえたら嬉しいと思い、子どもの参加も 呼びかけました。

■「N I E D国際理解教育センター」の山中令子さんからの2/15のEメールより（ちょっとその一部を拝借）

=反省=

「結構楽しいが、楽しいだけじゃあない参加型ワークショップ」の雰囲気を知ってもらおうという思いと、不公平な南と北の構造理解というねらいとが、1時間の中でコーディネートできませんでした。どっちも・・・と欲張ったのがいけませんでした。まだまだってことですねえ。学ぶことは際限なし！また頑張るのでよろしくおねがいします！

=失敗から学ぶ=

ワークショップの反省はさておき、最近つくづく思う事 があります。それは、自分自身のファシリテーターとしてのできはさておき、「ひとつとして、ムダな無意味なワー クショップはないなあ」ということです。私と参加者との 一方通行ではない、私を含めたその場にいる人全員の双方 向の流れの中で、私自身、必ず新しい気付きや発見がある から。失敗したと思ったことからでも学べる。ホント無駄 はない。そこがいいところ。だから続けられる。

=新鮮な出会い=

それと、毎回新鮮な出会いが必ずある！ なかなかみんな すごいじゃん！という。さらに今回は「クラカ」に出会えた！ ボリビアの風を感じちゃいましたよ！ すごくステ キでした。わたしはすこぶる単純なので、ケーナ習おうか なあ・・・なんて思いながら瀬戸電乗ってました。窓から 見える景色がほわっとして、いつもとちょっと違うような、 そんな感じがした。よかったあ～。

=生き方の出会い=

そしてもうひとつ。ゆきこさんの語りはいいですねえ！ 本当に伝えたいことがあるんだなあ・・・って思えて響 きます。人の持つエネルギーがあるんだなあ...と。優しい 言葉やなぐさめにではなく、その人の生き方に励まされる 事が最近は多くなりました。あきひろさんとゆきこさんと お知り合いになれて

嬉しいです。

わたしも元気だしていこ！

=みんなの学びの場=

ちょっと余談ですが・・・いいでしょうか・・・。

あのバースデイラインアップ（注2）で、障害を持った方にとまどって、小学生の女の子が泣いてしまった場面があったしょ。あんな場面でも、実は参加者全員が学べるんですね。

彼女はたぶん遠くから見たことはあっても、ああやって実際にコミュニケーションした経験はなかったんでしょうね。初めてのもの、未知のもの、よく知らないもの、まして、自分とはやり方が違う人は、誰でも不安で怖いものですよね。彼女も「こわい」という気持ちと、伝わらない、理解できない、という思いが溢れて泣けちゃったんでしょうね。

でも必死にその後立ち直って自分のお誕生日はしっかり言えたもんね。自分とはやり方が少し違っていても、言葉が聞き取りにくくても、こうして自分と同じく「リアルバレンタイン・コンサート」にこようと思った彼は、わたしと同じ人間なんだという、ごく単純なことを身を持って知ってほしいと思う。今度は泣かなくてもいいことを学んでくれたなら嬉しいけれど。

あと他の参加者のさりげない2人への応援もよかったと私は思う。2人ともを傷つけないようなやり方を、多くの人があのとき頭の中で考えていたと思う。実際に経験するという事は、確実に力になるよね。

=ビタミン企画を・・・=

これからも心に響く、ビタミン企画を提供してね。楽しみにしています！

お疲れさまでした。おやすみなさい。

やまなか れいこ

（注2）グループ分けの手法の一つとして、口を開かず、身ぶり手ぶりだけで誕生日を伝え合い、その順に並びます。

「反省と感想と激励のEメールをもらったわたしもビタミンの他、ミネラルも酵素も頂いた感じ！」といゆきこ

### ■「簡単じゃん！Eメール」

ここ半年、私にもEメールが生活の一部になりました。長男のくじけぬ（いい加減あきれかえっている）指導のもと、今や私は言う。「簡単じゃん」「楽しい！」パソコンお持ちでEメールが他人事の方、是非チャレンジして下さい。そのうちG A I Aの会でも「簡単じゃん！Eメール」という講座をひらけたらいいなと思っています。

### ■国際理解教育との出会い

96年、お店オープンの1ヶ月ほど前、横浜のフェア・トレードのイベントで「貿易ゲーム」を体験しました。ゲームなんて、と馬鹿にしていた私の思いをひっくり返したこの日の体験型ワークショップ。皆さんにも是非知って頂きたいと、2月13日のリアル・バレンタインデー企画に、また来る5月8日の「世界フェアトレード・デー」の企画に、とつながっています。

### ■名古屋での国際理解教育.....

塾の先生の実験を持つ山中令子さんは、「ぐりとぐら」のような女の子を持つお母さん。子育ての関わ

りのなかで、「？」をかかえながら出会った環境教育を学び、名古屋で国際理解教育を実践しています。

彼女がファシリテーターだった西生涯教育センターで受講した講座の楽しさが忘れられず、昨年「宇宙船地球号に乗って、地球をみよう！」という講座を開きました。参加人数が少ない時もありましたが、少なくとも多くても、それなりにちゃんと出来て有意義なことが特徴でもあります。

チラシヤ口では伝えきれない、まさに体験によるしかないワークショップ型講座は「参加して下さい」これのみのようです。

## ■「参加して下さい！」国際理解講座 ～つながりに気付き、つながりを築く～

★日時 午後6時半～8時半 ウィルあいち

4月1日（木）自己理解

世界とのコミュニケーションの前にまずは自分を知ること・・・。

5月13日（木）食べものから世界を見よう

6月3日（木）人権から世界を見よう

7月1日（木）私から始まる国際理解

何ができるのか、自分が何をやりたいのか

★会費 4回連続5000円（1回1500円）

★定員 25名

★問い合わせ G A I Aの会

052-962-2638（月休）

★振替〒00840-8-25838 G A I Aの会

-----4・5-----

3月2日（火）於ウィルあいち 音楽スタジオ

ブルース&トーク

「ブルースを聴こう！」

アレン・ネルソン（40名近く参加）

アフリカから奴隷船で強制連行された1億をこえるともいう数の人々の話や、駐屯していた沖縄での話、今、子どもたちに伝えたいこと等・・・、自分の目と耳でもう一つの歴史を聴きました。

アメリカブルース歌手・市民運動家

★アレン・ネルソンさんプロフィール

1947年生まれ。かつて海兵隊員としてベトナム戦線に従軍、沖縄に駐留した経験を持つ。貧しさから抜け出すために軍隊を目指す子どもたちに従軍体験を語り、戦争という暴力に加担しないよう呼びかけている。また、貧困家庭の子らに勉強出来る場を提供したり、公立学校から軍隊についての教育を取り除くプログラムを進めています。

\*岩波ブックレット『沖縄に基地はいらない』に詳しく書かれています。風"sでも取り扱います。

## ■「ブルース&トーク」の企画の始まり

2月13日に開催した「リアルバレンタイン・コンサート」に参加の山崎千恵子さんからお話をその日に受けました。彼女は「中間航路巡礼」（注3）の企画に参加して今、行進している人からの状況を、E

メールで受信、翻訳して発信しています。（注3）現代の精神的いき詰まりの原因は、他者の犠牲の上に自らの繁栄を築くという、奴隷制を支える精神構造そのものを、1998年5月から一年がかりで逆にたどる巡礼がなされている。

#### ■ 奴隷と日本の私達とどんなつながりが？

チョコレートの原料であるココアと砂糖のふるさとも、歴史をたどっていくと三角貿易があった。砂糖のあるところに奴隷あり、ということです。今はダイエットを気にするぐらいに食している砂糖は、もともとは貴重な薬でもあり、奴隷制度によってもたらされたものです。私達の生活は、それにより引き裂かれた民族、追い出された先住民族、今なおその姿を変えた大きな力に踏みにじられている人々のうえに成り立っています。

そのことに目を向けないと、子どもたちに未来を語れないと思う。

#### ■ 「ブルースを聴こう！」の夜思ったこと

もう少し歌があったほうがよかったかもしれません。黒人問題、奴隷の話は知っていたけれど、どれだけ自分の身に置き換え思いを馳せられるかということで、聞き方が違ってきますね。これまで、欧米から見た「黒人はなまけもので・・・」というような感じでとらえ、人間としてみていなかったような気がします。

#### = 欧米から見たアフリカ観 =

かわいそうぐらいの感じだから、私の気持ちは白人と同じ考え方だ。たぶん欧米から見たアフリカ観が、学校で学んだ教育だったのではないのでしょうか。

黒人だって魂があり、人であるという当然のことを、今まで何も考えなかった。奴隷などにまつわる話を、ただの話、ただの物語のように聞いていたようだ。つまり気にしてなかった。

#### = 犠牲を強いたことで成り立つ社会 =

アメリカ・ヨーロッパは勿論、日本もアフリカの大地から切り離された人々の犠牲のうえに今の生活が続いていることに、遅まきながら気づきはじめました。

日本は、日本の歴史のなかでアジアに犠牲を強いることで成り立ってきたのだと思いあたるものの、詳しくは知らない。勉強する機会を持ちたいと思います。

#### = 沖縄（ウチナンチュー）という一つの民族 =

ネルソン、という名前も自分の名前でない。つまり祖先をも切り離された黒人の人々の「証し」が名前にある。それを聞いて泣いたという沖縄の子どもらの話が印象的でした。沖縄の人たちは、先祖を大切にします。沖縄についても知らないことが多い。沖縄（ウチナンチュー）という一つの民族についても知りたいと思います。

#### ■ ブルースの誕生

奴隷のつらい日々の生活や労働の中からほとぼしりでたハミングが、やがてブルースになったという。女の人に、冷たくされたり逃げられたりという歌が多いが、それは「女」を「自由」におきかえての歌だという。

#### ■ 参加した藤丸加代子さんのEメールから

「アレンさんは私達と同世代。育った国が違うけど、世界で起きた出来事は同じに見聞きして生きてきた人。どんな感じ方をされたのか、話が聞きたいと思って出かけました。」

『もう少し歌が・・・』とあったけど、私はあのトークが聞いて本当に良かったと思いました。貴女が書いていたように歴史の授業で学んだ奴隷船、その後の黒人の生活、その中で出来たブルースもみんな知識として知っていたけど、自分と違う世界のことと考えていたようです。

人間の悲しみ、絶望感、そして叫びみんな同じだし、人として大切にしなければならぬことも一緒なんだと改めて思いました。アレンさん、人柄だと思うのですが、とても暖かで、本当の意味での健康な生き方をされている方だと思い、行って良かったなと思って帰ってきました。

-----6-----

2月19日20日 於横浜

フェア・トレードを広げよう！

フェア・トレード公開講座が開かれました。講師 シャンティ・チャダ＝ネパール  
生産者団体ウーマンクラフト（注4）代表

土屋 晴代＝フェアトレード団体

ネパリ・バザー口代表

私、土井ゆきこも講師として招待され参加しました。

地元の学生さん、東北、九州からと集まったフェア・トレードに関わる人々が参加。同窓会のような雰囲気もあり、楽しく 現地の話などを聞きながら勉強してきました。

（注4）Woman Crhft 手漉きの紙を中心にお香、セラミック、木版染め、ニットなど様々な生産者を抱えるハンドクラフト団体。

シャンティさんは、夫との死別の後、高等教育を受けさせてくれていた両親の思いを生かすため、パートナーと銀行から借りて事業を始めた。が、商業性を目指すパートナーと、社会性を求める彼女と意思があわなくなりやめた。学歴のある私でさえ苦労したのに、他の女性はどうしているのかと思い、何か自分ができることはないかと自分のプロジェクトを持つようになった。

土屋さんとのつきあひも、ネパリ・バザー口発足以来で、「ミシンを送りましょうか？」と独立したとき申し出たら、「貿易をして下さい。」とシャンティさんは答えられたそうです。土屋さんは、「何をすべきか、何をすればいけないかを知りました。」と話してくださいました。

またシャンティさんは「すべての女性に人生があり、それは尊敬されるべきであり、自分の足で立つことができるようにしたい」と話されたことが印象に残っています。「国を越え、女性対女性の援助を希望している」とも話されました。

-----7-----

食卓からよみがえる環境とからだ

ライフシード・キャンペーン 1999

人間はこんなに元気になる、地球も元気になると語る大谷ゆみこさんが 名古屋へ！

■地球の生命循環に思いを馳せる・・・ 雑穀栽培

大地とはどんなものか？ 種は地面からどのように萌えて、どのように育つか見てみませんか？

単に無農薬・無添加でなく、本来、人はなにを食べるのかを考える機会にもなるでしょう。細胞レベルで響く雑穀の素晴らしさを語ります。環境汚染時代をおいしく生き抜く、命に満ちた食事、愛に満ちた暮らし、イキイキ地球に抱かれて・・・

食と暮らしの未来を力をあわせて取り戻しましょう！

食の転換と暮らしの転換の大冒険

私が変わる 暮らしが変わる 地球が変わる

公開講座 未来食講座 IN なごや

99.3.27(土) 午後1時半~4時

ウィルあいち

会費\* 3 5 0 0円 (当日+500円)

定員100名 (定員なり次第締め 切ります) 日本中の空き地を雑穀の穂で埋め尽くそう! 『ハートネット』13号・「未来食の太陽エネルギー効率は、現代食のほぼ2倍！」

発売中 500円

#### ■「みんなで作る未来食」

ウィルあいちの料理スタジオで毎月勉強が続いています。1F 「風"s」では、食材・書籍・機関誌『ハートネット』を扱っています。栽培手引付きの種の注文も受け付中。要予約 (送料込500円又は1000円) 052 (962) 2638

「肉を食べることが、その10倍もの穀物を間接的に食べている ことを知っていましたか？」

「牛を飼うために熱帯雨林の大伐採があったり、育牛に使う飼料 が食料にまわれば、世界の飢餓がなくなるのに十分な量であること を知っていましたか？」

とはいえ、肉食から穀物食に移行するのは無理、と考えるあなた、でもそれが楽しく、無理なくできるとしたら・・・。

#### ■食料危機への不安が無くなる

目前の食料危機がなくなり、お金の依存していく生き方でなく、個人的に自給の生活も可能になる。歪んだ経済システムから距離をおけるし、体のなかの生理が整う。世界中から搾取しなくても、がまんするのでなく、きり抜けることができる！

なんだかモヤモヤしていたいろいろな問題がすーっと整理され、気持ちがらく～になるかもしれません。

とてもシンプルな調理の 未来食とは.....？

#### ◆人と地球を犠牲にしない平和な食生活

自然や誰かを犠牲にしなければ手に入らないおいしさはもう 要らない

◆地域自給可能な自立型食生活安心して自由生きる一番の鍵 は食の自立から

◆生命力を創造する環境汚染の害を跳ね返せる元気を育て、生命力を最大限に発揮して生きよう。

「でも...美味しくなくては！」

#### ◆心と体においしい食生活

全身の細胞が生き返る天恵のおいしさを楽しもう

◆生命力に満ちた食べ物を命のルールで 調理する食のアート

<http://www.ic-net.or.jp/home/ilfa/>

-----8・9-----

5月29日 (土) ・30 (日)

ボリビアのフォルクローレグループ「カント・スール」来名！

## ■実行委員参加よびかけ

「ウィルあいち」（名古屋市東区）で、地球に住むひとり一人のおつきあいを音楽を通じてできたらいいなと願っています。来る5月29・30日開催の「folklore・フェスティバル」の実行委員会がGAIAの会のなかの音楽国際交流を目指したセクション「音楽は世界をつなぐ架け橋」の呼びかけにより、これまで2回開かれました。ひとり一人のできることを寄せて、ひとつひとつコンサートを手作りしてみたいと考えています。聞き手も同じ舞台（気持ち）で、公演&交流企画をその過程を楽しみながら、実行委員をやってみませんか。次は3月27日午後4時半から開きます。

## ■今までの流れ

きっかけは「第三世界ショップ」（フェア・トレード（公正貿易）を通じて、10年来途上国の自立を支援するとともに、世界の伝統音楽の文化保存活動をしている）が1997年夏に招聘した南アフリカのグループ「アズマ」を長野県泰阜村へ聴きに行ったこと。なんの知識も、アフリカ音楽への興味も、なにも持たずでかけたのですが、部族の違う8人のメンバーの躍動する音楽と踊りを目の前にして、終わったあと「みんなに見てもらいたい。聴いてほしい。この場をもっと多くの人と共有したい。子ども達にもこの場にいてほしい！」そんな思いをもちました。

その年の秋「カント・スール」の受け入れ要請を受け、公演を主催しました。その時の感動は、今も心ときめく何かがあります。まさに「音楽は世界をつなぐ架け橋」であることを経験しました。

## ■ワークショップ形式の「交流の使者」として

今回は、メンバー三人から指導を受けながら、楽器（無料貸与予定）で音の重なりを楽しみます。できあがった民族音楽に自分も参加していることに驚くことでしょう。参加型のコンサートともいえます。

## ■日本にいる子どもたちと「カント・スール」のワークショップ

ボリビアで、子どもたちに民族音楽を伝えたい、とボランティアで教えているリーダーのビセンテ。そのキャリアが生きるこの企画は、つぎの世代を担う日本にいる子どもたちにもぜひ経験してほしいのです。

もちろん「カント・スール」のコンサートと、その前にアマチュアグループのお披露目コンサートも予定しています。

## ■ボリビアへ移民100周年

今年は、日本からボリビアへの移民100周年にあたるそうです。新天地めざして苦勞したであろう明治の人々に思いを馳せ、受け入れたボリビアはどんな国か、これを機会にボリビアという国を勉強しようと、当日はスライドにより紹介をします。

## 99folklore フェスティバル IN名古屋

★日時 5月30日（日）午後1時～3時半

第1部 アマチュアグループONステージ

第2部 ボリビア紹介（スライド）

第3部 「カント・スール」コンサート&ワークショップお披露目ステージ

★会費2000円（子ども半額）当日+500円

★29日のワークショップ（大人有料・子ども無料）・30日のクリニック特典付（有料）のアマチュアグループONステージ参加（無料）についての問い合わせは

052-962-2638 土井ゆきこ

杵淵真紀さん（「第3世界ショップ」）からの97年の日本でのワークショップの様子を伝えるEメールをご紹介します。

### =メロディーの練習=

まず子供たちにタルカのリズムをホワイトボードを使って、音符の代りの数字をタルカの穴にあてはめて説明します。例えばドレミなら、1、2、3といふように。それをドンはゆっくりゆっくりと繰り返していくことで子供たちに体感させていきます。はじめは1フレーズ、次に2フレーズ、そして1、2と続けて。今度は3フレーズ、そして4フレーズ。最後に1、2、3、4と続けて。子どもたちが吹くタルカがメロディーを担当し、その他ボンボ（太鼓）、小太鼓は大人の参加者が担当。ボンボ、小太鼓の場合も子供たちに教えるのと同じく、ゆっくりゆっくりと教えてきます。タルカ、小太鼓、ボンボ、それぞれに練習している時には、聞いていると、うーん、慣れない楽器というのは難しいな、と感じました。はじめは本当につかえつかえですから。

### =音がメロディーに=

特にボンボ、小太鼓を叩く大人のリズム感の悪さ！！みんな豪快に笑い飛ばして面白かったですけど。それでも「muy bien!（スペイン語でgood）」というカントスールのメンバーの掛け声、太鼓だったら背中に感じるカントスールの手のひらのリズムにあわせていくと、なんとかつながっていくんです。音がメロディーに....。

### =おっかなびっくりの合奏=

それから各パート一緒になって合奏します。前回の場合、それまでに1時間弱かかったかな、と思います。ここからが圧巻です。合奏といってもすぐに「いっせいの」といって全員がスタートする訳ではありません。まず始めにボンボの力強い音がリズムを刻みます。そして小太鼓のタカタカという軽やかなリズムが加わります。しかし、この時点では日本人のリズムのなさを悲しさか、リズムが止まったり、伸びたりあっちへいたりこっちへいたりします。ここでもまたカントスールの助けが入り、なんとか安定してきたところで子どもたちのタルカが入ります。はじめはおっかなびっくり。タルカだけで練習していたときには吹けていたものも吹けなくなるんですね、なぜか。でもドンはそれを励まして何度も何度も繰り返していきます。

### =あ、音楽になった！=

そうすると、来るんです。音の散らばりが音楽になる瞬間が。本当に「あ！」という瞬間です。タルカが音楽をひっぱるメロディーを奏で、ボンボと小太鼓がそれを支えるリズムを与える。あ、音楽になった、そう気づくのです。その時の子供たちの顔、もちろんおっかなびっくり叩いていた大人達の顔も忘れることができません。目が輝いて、嬉しそうに。おそらく彼らも同じように感じたのだと思います。音楽になった瞬間を。

### =大きな拍手が湧く....=

それは、取り巻いて経過を見ていた子どもたちの親や観客も同じだったらしく、それまではおしゃべりをしていた人たちも、なんといったらいいか熱気を感じてなのではないでしょうか、大きな拍手をしてくれました。ドン・ビセンテが持つ教育性の高さがもたらした、日本でのワークショップで子供たちが見せた真剣な目、演奏し終わった時の興奮した目は、カントスールをボリビアに訪ねた際に見たビセンテのところでワークショップを受ける、ボリビアの子供たちの目を思い起こさせます。

====="風"sからののお知らせ"=====

風"sのたよりをお読み頂きありがとうございます。第三回の年間 講読のかたを募集します。年6～8回発行予定です。

ご希望のかたは、通信費1000円を郵便振替口座 008 00-7-115557 ふ～ず までお振り込み、または、下記の住所まで切手でお送りください。（〒番号7けたも）

なお便りご不要の方は、次回に封をあけず、返却と封書に書いてポストへ入れて下さい（切手不要です）。また、重複して届いた場合、お知らせ下さると幸いです。

「G A I Aの会の集い」のお知らせ

「カモミールをつんでハーブタイム！」

\*\*\*苗・ハーブティー・クッキー\*\*\*

★日時 5月9日（日）

午前11時現地集合

ハーブバイキングランチあり！

★場所 豊田市井上町

かよ加代ハーブ農園

★定員 15名 予約受付ます。

会費等詳しくは、次号でお知らせします

====="気になる風の情報"=====

★3月14日（日）起業支援～弥生月講座～

ウィルあいち 9時半～ 16時半 3/28・4/4

3回30000円・2回23000円・1回15000円

問い合わせ052-683-7818 起業支援ネット

★3月14日（日）コンサート

「トゥルース 光る風」2000円

14時半～ ウィルあいち2F 交流会もあり

問合せ あいりすはーと 052（775）8363

★3月26日（金）第1回ふれあいユニオン学習会 名古屋市女性会館 地下鉄東別院 午後6時半～

労働法の「改正点は？」4月に改正される労働法が、働く者に与える影響を学習します。

問い合わせ 名古屋ふれあいユニオン052（8592）058

★4月4日（日）オイリュトミー ウィルあいち

午後2時開演 2500円 小中制500円（当日+500円） 問合せ 052（805）5346

★4月14日（土）第32回アンデスfolkローレの調べ

蒲郡市捨石町塩浜32 カフェテリア・エル・インティ 午後7時開演

2000円（当日2300円）1ドリンクつき

申込・問い合わせ 0533-68-7067 長田